

○ アスザック株式会社（代表取締役 久保 正直 上高井郡高山村）

○ アスザックフーズ株式会社（代表取締役 久保 正直 須坂市）

<企業のコメント>

企業の活力を高め、一人ひとりが安心して働くために、仕事と家庭が両立するようにしていくことは、非常に重要なことです。

そのため、国の施策として「次世代育成支援対策推進法」が施行され、男女ともに働きやすい環境づくりが推進されつつあります。当社は300人以下の企業であり、行動計画の策定及び届出は努力義務でありましたが、次世代法の趣旨を理解し、法を遵守することが会社の責務であると考え、実行可能なことから取り組みを進めることにいたしました。

また、当グループでは働きやすい職場を重要視しており、アスザックフーズが平成19年6月より『職場風土改革促進事業主』として(財)21世紀職業財団から指定を受け、取り組みを開始しました。

当然アスザックフーズのみならず、アスザックグループとして積極的にこれを進め、仕事と家庭を両立できる職場環境の改善と職場風土の醸成を行って参ります。

<行動計画>

1 計画期間 平成17年4月1日から平成22年3月31日までの5年間

2 内 容

目標1 現在、両立指標（注）で「両立支援（勤務時間短縮等）」の分野が10点となっており、低いため、以下の対策を行い、20点以上になるようにする

<対策1> 小学校就学までの子を持つ従業員が利用できる短時間勤務制度等の制度のうち、1つ以上を平成19年4月までに導入する

目標2 現在、両立指標（注）で「利用状況」の分野が10点となっており低いため、以下の対策を行い、20点以上になるようにする

<対策2> 対策1で導入した制度を平成22年3月までに1人以上が利用する

目標3 子どもが生まれる際の父親の特別休業取得率を平成22年3月までに80%以上にする

目標4 平成20年3月までに、年次有給休暇の取得率を一人当たり平均5%以上向上させる

（注）「両立指標」とは、企業自らが自社の仕事と家庭の両立支援対策の進展度合いや不足している点を、設問に答えて採点し、自社の「仕事家庭の両立支援のしやすさ」が客観的に評価できるように構成されたもので、厚生労働省がHP等で紹介しているものです。